

## 建設計画の重点取組み事項に係る事業等の取組状況に関する意見に対する回答

地区名：香 南

地区名	項目番号	中間報告番号	項目	意見の内容	担当部局	担当課	回答
香南	1	—	建設計画の着実な推進	高松市においては、平成18年度から22年度までの5年間の建設計画の取組状況を振り返り、どのように評価しているかお伺いします。 なお、県道・市道等整備の中には、一部未着手の路線もありますが、建設計画に掲載している全ての事業が平成27年度までの期間内に完了するよう重ねて要望します。	市民政策部 都市整備部	地域政策課 道路課	平成18年度から22年度までの5年間の建設計画の取組状況につきましては、一部、未着手などの事業がございますものの、主な事業につきましては、大部分が実施済または着手済となっており、全体としては概ね円滑に進捗できているものと存じます。 建設計画登録路線の整備につきましては、地域審議会や地元関係者等の御意見をお聴きし、費用対効果等を考慮する中、地元関係者の同意が得られた路線において、順次整備に努めておりました。今後とも、着実に整備を進めてまいりたいと考えております。
香南	2	—	合併特例債の発行	第5次高松市総合計画、第1期高松市まちづくり戦略計画の中では、財政基盤の強化として、平成19年4月現在の市債残高1,528億円を平成27年度までに1,000億円以下にするという目標値が示されていますが、現時点での達成見通しをお伺いします。 また、目標の達成が先行し、建設計画の実現に向けて有効な財源である合併特例債の発行に影響がでることのないよう、改めて要望します。	財務部	財政課	21年度末の市債残高の現況値は1,450億円であり、第4次行財政改革計画での目標値（21年度末市債残高1,300億円）は達成していない状況でございます。これは、目標設定時において想定していなかった太田第2土地区画整理事業の借入金を、同事業の完了に伴い21年度に引き継いだことや、実質的な地方交付税である臨時財政対策債の大幅な増などによるものでございます。 なお、中期的な目標として第5次行財政改革計画においては、臨時財政対策債を除き、24年度末市債残高の目標値を1,100億円として、目標達成に向けて鋭意取り組むこととしており、まちづくり戦略計画における目標値についても、同様の考え方にに基づき、目標達成に努めてまいります。 また、目標値は、将来にわたって、持続可能な健全財政を確立するための指標として設定したものではあるが、合併特例債を効果的に活用する中で、事業の標準化を図り、市債残高が過度に累積しない財政構造の確立に努めてまいります。
香南	3	48	防犯灯の整備促進	香南地区においては、毎年、防犯灯の新設枠は概ね7～8灯となっておりますが、新たな設置要望が非常に多く、設置までには相当期間待たされている状況です。 住民生活が、さらに安全・安心なものになるよう、防犯灯設置の予算を大幅に増額されるよう要望します。	市民政策部	地域政策課	防犯灯の新設は、毎年度、本市の予算に応じて、各地区（校区）の連合自治会に灯数を配分し、各地区（校区）連合自治会において、単位自治会からの要望も踏まえた上で、現地調査等の調整を行うとともに、その必要度や緊急度を考慮してとりまとめた後に、本市に対して設置申請がなされることにより、整備が行われております。 防犯灯の新設助成につきましては、現在においても、毎年度180灯前後の新設費用を予算計上しておりますことに加え、自治会所有の防犯灯の電気料金につきましては、全額を助成しており、現在、市内全域で約2万6千灯余りの防犯灯が助成対象となっておりますことから、電気料金を含む維持管理費の節減が課題となっております。 したがって、防犯灯設置とその後の負担増も十分考慮して、適切に対応してまいりたいと存じます。
香南	4	57	学校教育環境の整備	新聞報道等によると、坂出市、善通寺市、三豊市および宇多津町では、子どもの学習環境の充実を図るため、市内の全小中学校にエアコンの設置を決定したようです。 また、高松市においても、全市立幼稚園にエアコンの設置を決定したようです。 このエアコンの設置は、時宜を得た非常に有効な事業だと思いますので、高松市内の全小中学校に拡大されるよう要望します。	教育部	総務課	小・中学校のエアコン設置につきましては、設置に伴う整備費用や、設置方法のほか、財源として国の補助金および合併特例債の活用など、今後、具体的な計画を、検討してまいりたいと存じます。

## 建設計画の重点取組み事項に係る事業等の取組状況に関する意見に対する回答

地区名：香 南

地区名	項目番号	中間報告番号	項目	意見の内容	担当部局	担当課	回答
香南	5	69	南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備	当該スポーツ施設が、南部地域の核にふさわしいものとして整備され、小さな子どもからお年寄りまで、広く多くの市民に利用され、愛される施設になるよう要望します。	市民政策部	スポーツ振興課	香川町と香南町の2つの合併協議会のまちづくりプラン（建設計画）における重点取組事項である「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備」については、市域全体のスポーツ施設のバランスと効果的な連携を念頭に、合併特例債の活用など財源確保にも留意し、関係する3地区の地域審議会や関係スポーツ団体等の意見を聴く中で、平成22年5月26日の香南地区地域審議会、5月31日の香川地区地域審議会において、新たに3箇所の整備場所の候補地を示し、数回の協議を行いました。同年11月24日の香南地区地域審議会、同29日の香川地区地域審議会において、本市としてのスポーツ施設整備の候補地としては、香南町岡地区空港関連事業用地を選定することの同意を得たところでございます。 整備については、新たな用地購入を行わないことを基本としていることから、現在、土地の交換を前提に、当該用地の所有者である香川県土地開発公社ならびに香川県と協議を行っております。 23年度において、土地の交換の協議がまとまれば、基本構想・基本計画の策定に着手する予定ですが、御意見のような施設となるよう留意してまいりたいと存じます。
香南	6	77	電子市役所の構築	電子市役所の構築により、具体的に住民にはどのようなメリットがあるのかお伺いします。 また、高齢者はパソコンとインターネット等はほとんどの方が苦手ですので、全ての住民にやさしい事務事業の推進を要望します。	総務部	情報政策課	電子市役所の構築とは、「情報通信技術やネットワークを活用することで、時間・場所・方法等の制約に囚われることなく、行政サービスの利便性を高めて行うとする取組み」でございまして、既に公共施設の利用予約や電子申告、コンビニ収納などのサービス分野で実現しております。 今後は、これらの分野での適用拡大を図り、市民の皆様が、より一層利便性の向上が感じられるよう努めるほか、例えば高齢者等に対する在宅医療・介護・見守り支援などの分野も含め、暮らしに密着した分野における活用につきましても、研究してまいりたいと存じます。 また、高齢者などインターネットなどが苦手な方々への対応といたしまして、機会あるごとにパソコン初心者講座などを開設し、ITに関する知識や技術の向上に努めるとともに、パソコンだけではなく、携帯電話やデジタルテレビなど、市民皆様方の身近にある道具を活用して行政の情報化を進めるなど、全ての住民にやさしい事業の推進に努めてまいりたいと存じます。
香南	7	109	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の岡本町以南、高松空港までの事業の早期着工については、平成22年12月市議会定例会の一般質問において、市長から「事業の継続性を確保し、早期整備を実現するためにも、凍結を解除されるよう、知事に働き掛けてまいりたいと存じます。」との前向きな御答弁をいただき非常に心強く思っています。 今後とも、「知事とのトップ会談」等、様々な機会を通じて、高松市として香川県に対し強い働きかけをされるよう要望します。	都市整備部	都市計画課	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）約9キロメートルの内、中間町から岡本町までの約3キロメートルの区間につきましては、側道による平面交差での暫定整備として、平成23年3月に供用開始されております。未着手である岡本町から空港までの約6キロメートルの区間につきましては、県が平成19年度の財政再建方策により、整備を凍結され、その見直しは立っていない状況でございます。 しかしながら、この道路は、中讃・西讃や東予方面からのアクセス性の向上による空港利用者の増加や地域の活性化を図る上で、重要な路線でありますことから、事業の継続性を確保し、早期整備を実現するためにも、凍結を解除されるよう、今後とも、県に対し強く働きかけてまいりたいと存じます。

## 建設計画の重点取組み事項に係る事業等の取組状況に関する意見に対する回答

地区名：香 南

地区名	項目番号	中間報告番号	項目	意見の内容	担当部局	担当課	回答
香南	8	—	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備	<p>県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備については、香川県の方針として、「現道の機能強化を基本とし、バイパスルートの整備については、人口減少に伴う将来交通量の推計や、現道の機能強化による効果の検証を行う必要があることから、現時点では、検討を進めることは難しい」とのことですが、これらの検証結果が出される予定時期をお伺いします。</p> <p>なお、当該要望の実現に向け、これまで高松市には大変な御尽力をいただいておりますが、建設計画の中では「県道三木綾川線バイパスルート（仮称）構想の推進を強く働きかけていきます。」と掲載されていますので、香川県も非常に厳しい財政状況とは思いますが、高松市として香川県に対し引き続き強い働きかけをされるよう要望します。</p>	都市整備部	道路課	<p>県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備につきましては、これまで県に対し強く要望してまいりましたが、平成20年8月に、県から方針が示され、当面の対策として、現道の機能強化を基本とし、バイパスルートの整備については、人口減少に伴う将来交通量の推計や、現道の機能強化による効果の検証を行う必要があることから、現時点では、検討を進めることは難しいと伺っておりますが、この道路の構想の推進につきまして、引き続き、県に対し、強く要望してまいりたいと存じます。</p> <p>また、現道の機能強化による効果の検証結果が出される予定時期ですが、現在、この現道の機能強化を図るため、香川県が、香川町内において交通量調査をはじめ、交差点改良などの検討を行っているところであると伺っております。市といたしましては、香川県に検証結果が早期に示されるように、強く要望してまいりたいと存じます。</p>
香南	9	—	県道の整備	<p>高松市においては、生活基幹道路の整備として、市道下川原北線を西に470m延伸することになり、現在、所要の実施設計が行われています。</p> <p>これにより、香川町側また香南町側から新しい橋（香東川橋梁）を通り、双方へ抜けるルートができることになり、地域住民の毎日の生活が大変便利になるとともに、地域が大きく活性化すると期待しています。</p> <p>さて、この橋の効果をさらに生かすため、香東川橋梁から県道円座香南線までの区間を、東西にはぼ直線である新しい県道ができれば、非常に分かりやすい走りやすい道路になり、また、交通安全面でも有効な道路になって、広く多くの県民がこの橋を利用することになるとともに、結果的に県道三木綾川線バイパスルート（仮称）を補完する道路にもなると思われます。</p> <p>これらの事情を総合的に勘案され、当該県道整備の事業化に取り組みられるよう、高松市として香川県に対し強い働きかけをされるよう要望します。</p>	都市整備部	道路課	<p>県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備につきましては、これまで県に対し強く要望してまいりましたが、平成20年8月に、県から方針が示され、当面の対策として、現道の機能強化を基本とし、バイパスルートの整備については、人口減少に伴う将来交通量の推計や、現道の機能強化による効果の検証を行う必要があることから、現時点では、検討を進めることは難しいと伺っておりますが、この道路の構想の推進につきまして、引き続き、県に対し、強く要望してまいりたいと存じます。</p>
香南	10	122	パーク＆ライド用駐車場・駐輪場の整備	<p>琴電琴平線の新駅「空港通り駅」における、パーク＆ライド用駐車場等の整備実績が報告されていますが、聞くところでは利用状況は好調のようです。</p> <p>さて、香南町民は、歴史的・地理的に、「円座駅」や「岡本駅」を利用している人が多いところですが、香南地区の建設計画の中でも、「パーク＆ライドの導入について、国・県・関係機関に強く働きかけるなど、その実現に向け検討を進めます。」とあります。</p> <p>つきましては、香南町民をはじめ郊外の高松市民にとって、通勤・買物等の利便性がさらに向上し、公共交通機関の利用促進や環境対策等にも資する事業として、「円座駅」あるいは「岡本駅」でパーク＆ライド用の駐車場を整備されるよう要望します。</p>	市民政策部	交通政策課	<p>昨年11月に策定した、新たな「総合都市交通計画」において、市街地中心部への流入車輛を削減し、公共交通機関の利用を促進する、パークアンドライド駐車場の整備を、施策の1つとして掲げ、推進していくこととしております。</p> <p>パークアンドライド駐車場の整備は、乗降客数が多いなど転換需要が見込まれるとともに、自動車アクセスに支障のない道路状況や、用地取得が可能であることなど、費用対効果や事業実施性の高い駅から優先して進める必要があり、従来からの鉄道事業者による取組等のほか、本市におきましても、新たに、市民病院の移転に伴う交通結節機能強化の一環として、仏生山駅付近に整備を予定しているところがございます。</p> <p>円座駅等につきましては、直ちに整備を行うことは難しいものと考えられますが、引き続き、県、鉄道事業者と連携し、検討してまいりたいと存じます。</p>
香南	11	—	合併協定項目の変更の取扱	<p>「高松市・香南町合併協議会」が確認した、合併に係る基本的事項や実施する事務事業等の協定項目について、変更等を行う場合には、事前に協議の場を設けられるよう要望します。</p>	市民政策部	地域政策課	<p>「高松市・香南町合併協議会」が確認した合併に係る基本的事項や実施する事務事業等の協定項目については、旧香南町と高松市がお互いの信頼関係における協議の結果、締結されたものと理解しております。</p> <p>したがって、基本的には、これを遵守すべきものと考えておりますが、社会情勢の変化などにより、その変更が必要となった場合には、地域審議会の御意見を伺いながら、進めてまいりたいと存じます。</p>

## 建設計画の重点取組み事項に係る事業等の取組状況に関する意見に対する回答

地区名：香南

地区名	項目番号	中間報告番号	項目	意見の内容	担当部局	担当課	回答
香南	12	126	支所体制の充実	<p>合併以降、毎年のように支所の職員数が減少しています。</p> <p>支所は、住民の毎日の生活を支える拠点施設であり、職員数が減少すれば、住民サービスの低下や災害時においては住民の大きな不安要素にもなるなど、香南地区全体の活気にも影響があると思われます。</p> <p>今年度は、関係課長補佐級を中心としたワーキンググループを立ち上げ、支所出張所のあり方を検討しているとのことですが、住民が安心して暮らせる住みよいまちであり続けるために、これ以上の職員数の削減は絶対に行わないよう改めて強く要望します。</p>	総務部 市民政策部	人事課行政改革推進室 地域政策課	<p>地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、地域の行政組織と本庁機能のあり方を全庁的な観点から検討するため、平成21年度に「高松市地域行政組織のあり方等検討プロジェクトチーム」を設置し、その中で支所・出張所の機能・権限、組織体制についても検討しております。平成22年度には、関係課の課長補佐級を中心としたワーキンググループを立ち上げ、支所出張所のあり方の検討に着手し、平成23年度においても、引き続き、このことについて検討しているところでございます。</p> <p>御要望いただきました支所の職員数についても、この検討過程において、総合的に考えてまいりたいと存じます。</p>